

サブドレン他水処理施設の運用状況等

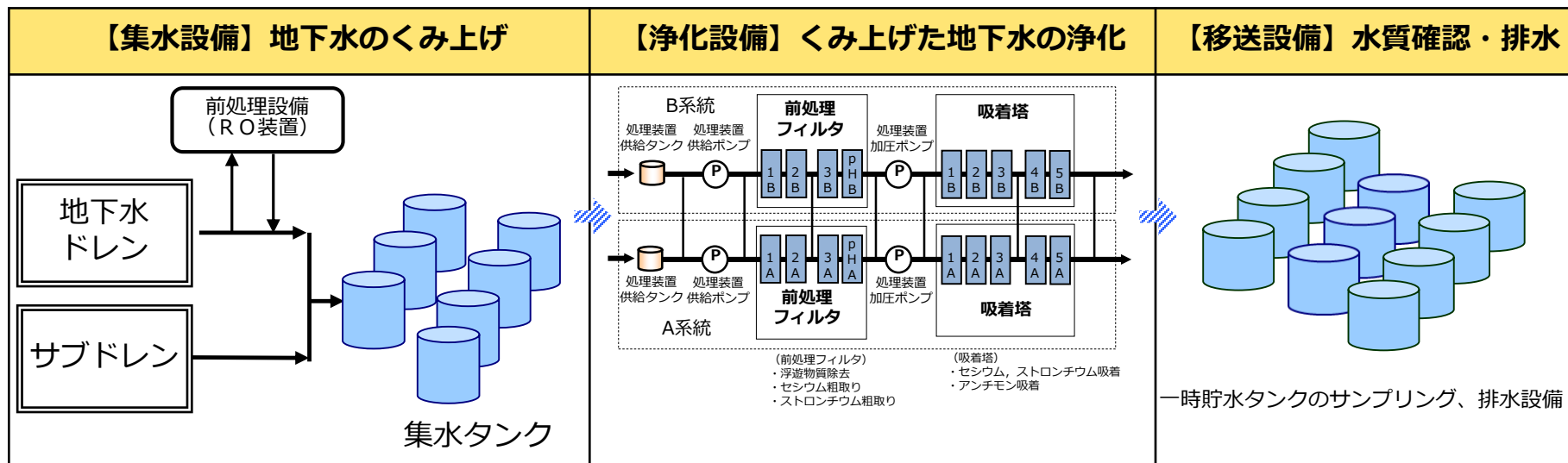


2026年 4月 23日

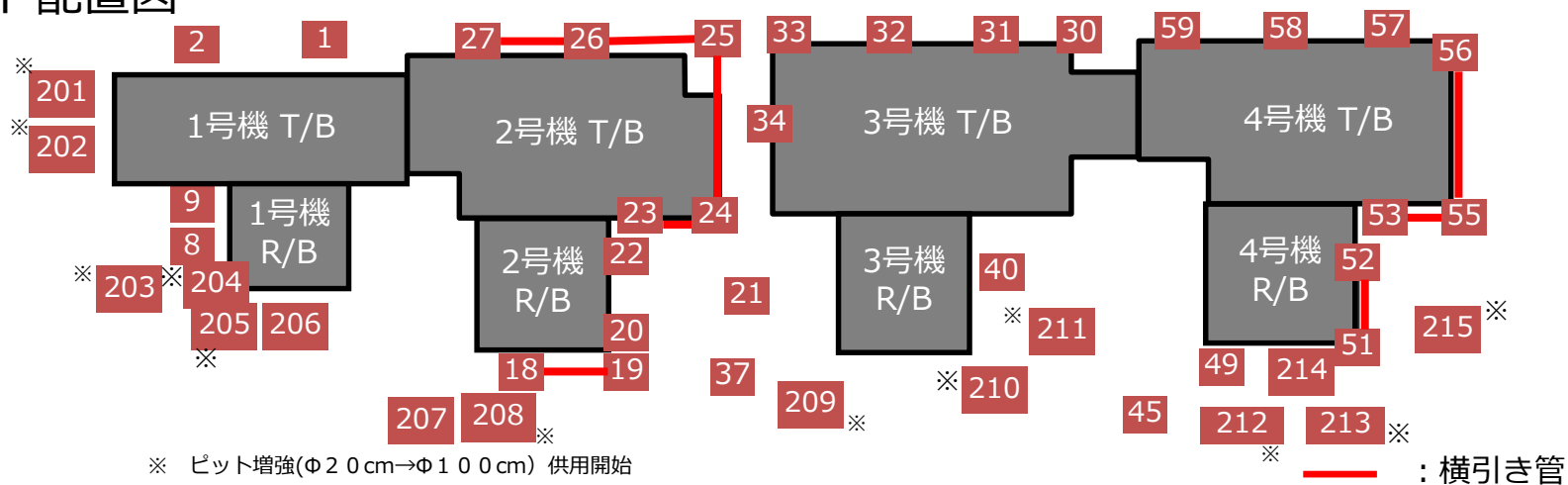
東京電力ホールディングス株式会社

1-1. サブドレン他水処理施設の概要

・設備構成

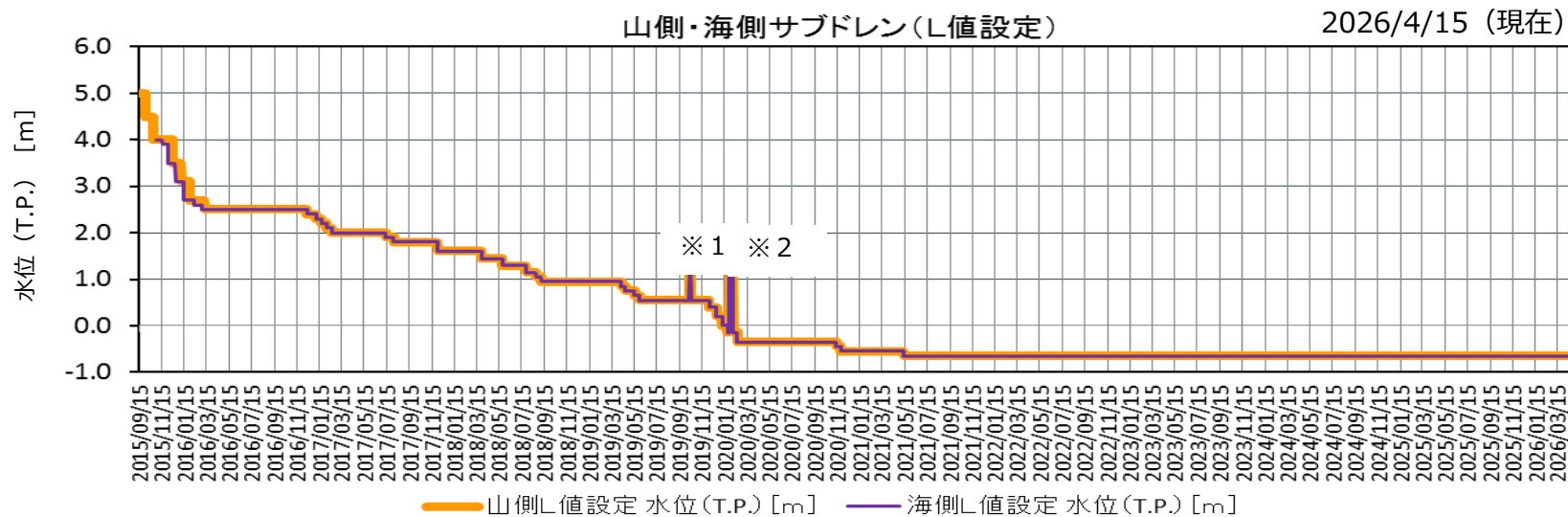


・ピット配置図



1-2. サブドレンの運転状況（24時間運転）

- 山側サブドレン設定水位のL値をT.P.+5,064mmから稼働し、段階的にL値の低下を実施。
実施期間：2015年9月17日～、L値設定：2021年5月13日～T.P.-650mmで稼働中。
- 海側サブドレンL値をT.P.+4,064mmから稼働し、段階的にL値の低下を実施。
実施期間：2015年10月30日～、L値設定：2021年5月13日～T.P.-650mmで稼働中。
- サブドレンピットNo.30,37,57を復旧し、2018年12月26日より運転開始。No.49ピットは復旧後、2020年10月9日より運転開始。
- サブドレンピットNo.21は、2号機燃料取り出し構台の設置工事に干渉するため、移設を行い、2022年10月7日より稼働を開始した。
- サブドレンNo.40ピットにて2022年4月21日に油分（低濃度PCB含有：0.56mg/kg）をうけ、周辺ピット（No.40,210,211ピット）の停止及び油分拡散抑制として、鋼矢板の設置等を行い、2023年10月2日よりNo.210,211ピットを再稼働し、2023年11月8日から連続運転に移行した。
- その他トピックス
 - ・特になし



※1 台風19号対応として10月12～15日の間、一時的に全ピットのL値をT.P.1400mmに変更した。

※2 1月の大雨に備えて基本のL値をT.P.1300mmとし、2月7日に水位設定値を元に戻した（L値:T.P.-0.15 m）

1-3. 至近の排水実績

- サブドレン他水処理設備においては、2015年9月14日に排水を開始し、2026年4月14日までに2,901回目の排水を完了。
- 一時貯水タンクの水質はいずれも運用目標（Cs134=1, Cs137=1, 全β=3, H3=1,500(Bq/L)）を満足している。

排水日		4/8	4/11	4/12	4/13	4/14
一時貯水タンクNo.		D	E	G	H	A
浄化後の水質 (Bq/L)	試料採取日	4/4	4/5	4/6	4/7	4/9
	Cs-134	ND(0.62)	ND(0.85)	ND(0.53)	ND(0.68)	ND(0.67)
	Cs-137	ND(0.65)	ND(0.75)	ND(0.72)	ND(0.62)	ND(0.61)
	全β	ND(1.8)	ND(1.8)	ND(2.0)	ND(1.8)	ND(0.64)
	H-3	500	500	510	560	570
排水量 (m ³)		774	776	693	845	699
浄化前の水質 (Bq/L)	試料採取日	3/31	4/3	4/4	4/5	4/7
	Cs-134	ND(5.0)	ND(4.2)	ND(8.6)	ND(5.5)	ND(6.0)
	Cs-137	96	90	110	130	140
	全β	—	—	—	—	330
	H-3	450	470	450	570	590

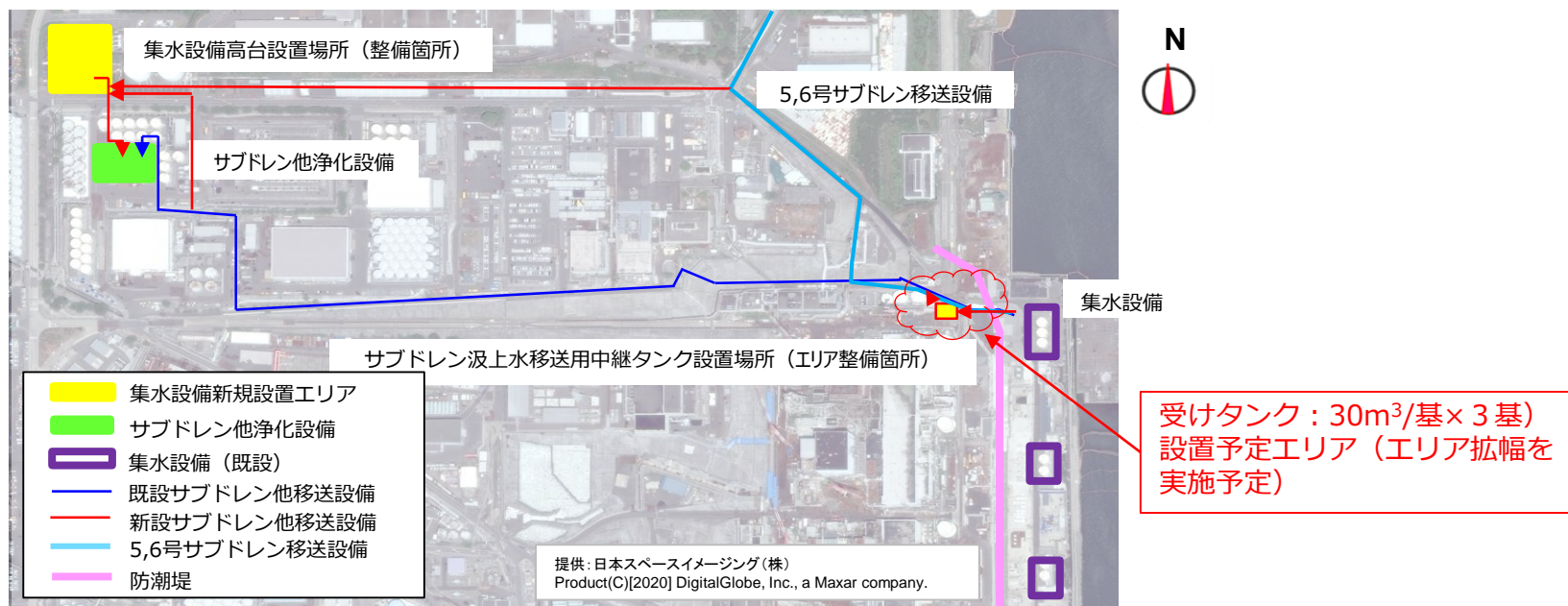
* NDは検出限界値未満を表し、()内に検出限界値を示す。

* 運用目標の全ベータについては、10日に1回程度の分析では、検出限界値を1 Bq/Lに下げて実施。

* 浄化前水質における全ベータ分析については、浄化設備の浄化性能把握のため週一回サンプリングを実施。

2-1. サブドレン他集水設備の高台機能移転等工事工程について

- 現在T.P.+2.5m盤に設置しているサブドレン他集水設備を、津波対策としてT.P.+33.5m盤に設置する工事を継続実施中。
- T.P.+8.5m盤の受けタンク（30m³/基×3基）設置エリア*において、干渉物の影響により設置エリアの見直しについて検討を行っていた（2025年8月報告済み）。
- サブドレンの今後の中長期的な運用と周辺エリアの廃炉作業工程を踏まえて、当初設置予定エリア近傍の既存設備（今後休止予定）を撤去、エリアを拡幅する計画として進めていくこととしたため、工程を変更する。
*現行の集水タンク(T.P.+2.5m盤) から浄化設備（T.P.+33.5m盤）へポンプ移送する能力と同様の機能を有する設備
- これにより、切り替え完了時期が予定より延びることになるため、万が一の津波襲来時には機動的な対応の具体化（予備品調達、手順書整備）を早期に進めていく。

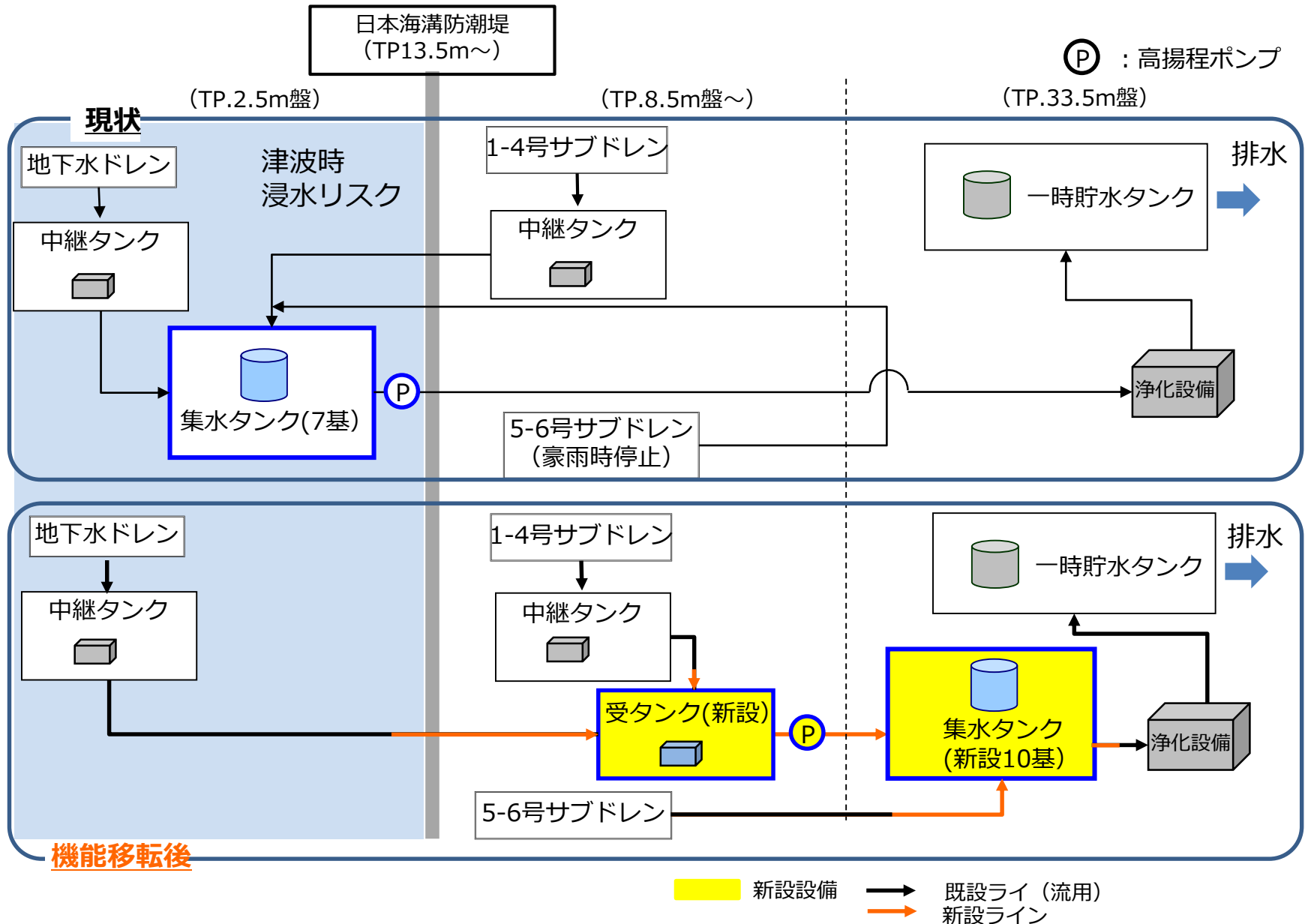


【計画工程】

年度	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031
集水設備設置（33.5m盤）	■							
集水設備設置（8.5m盤） （既存設備の撤去関係含む）	■							
既往設備→新設備切替							■	

※上記工程は、関連作業の進捗に伴い、変更となる可能性がある

【参考】サブドレン他集水設備の高台機能移転の概要



2-2. 2.5m盤サブドレン他集水設備の33.5m盤への機能移転等工事（進捗状況）

- 集水設備を移転する高台エリア（T.P.+33.5m盤）については、高台集水タンク及び移送ポンプ建屋の設置は完了しており、現在はその周辺の移送配管の敷設や移送ポンプ建屋内に浄化設備へ移送するためのポンプ、制御盤等の電源、制御系設備の設置工事を順次実施していく予定。



集水タンク設置エリア
(黄色部)



【工事エリア全景】(2026.2.5)



【移送配管敷設状況】(2026.2.3)
(集水タンク壇内)



【移送配管（横断部）】撮影方向① (2026.2.3)

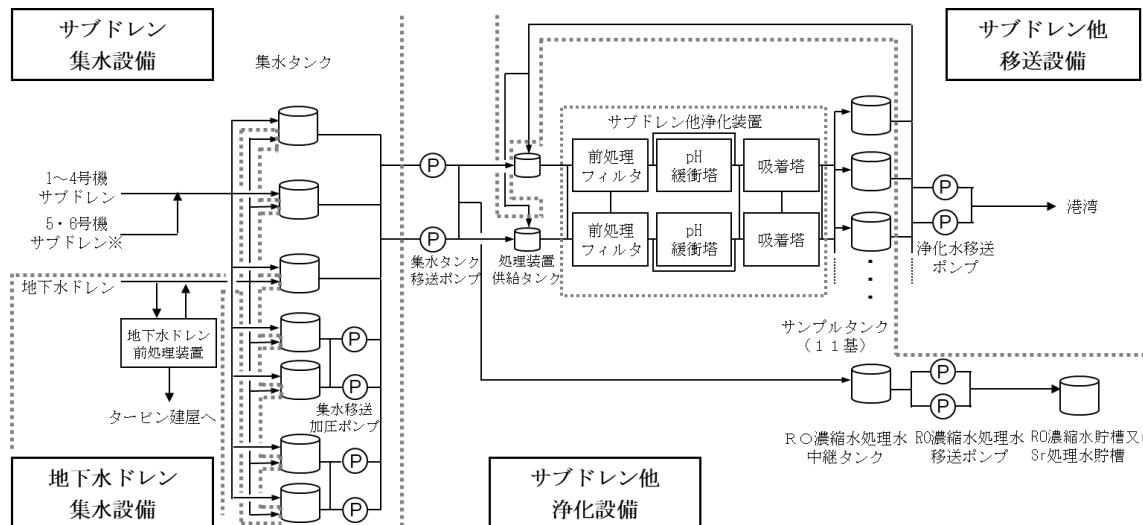


【移送ポンプ建屋設置状況】撮影方向② (2026.2.3)



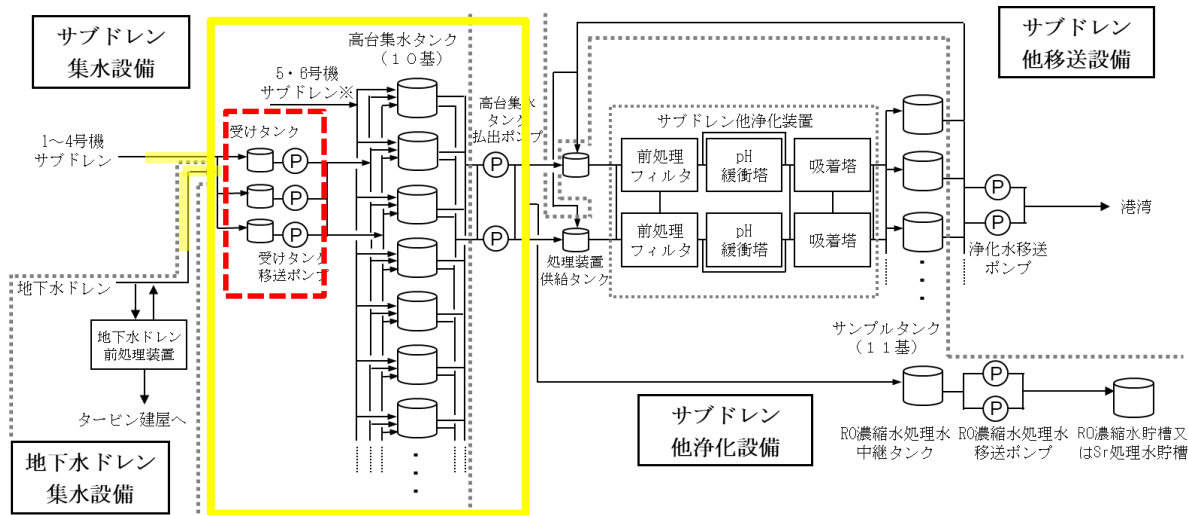
【移送配管敷設状況】(2026.2.3)
(集水タンク～サブドレン他浄化設備)

【既往 の設備構成】



※ 5・6号機サブドレンピットから汲み上げた地下水は、集水タンクへ移送する。（「添付資料-1 5 5・6号機サブドレン集水設備復旧による地下水流入低減について」参照）

【高台機能移転後 の設備構成】

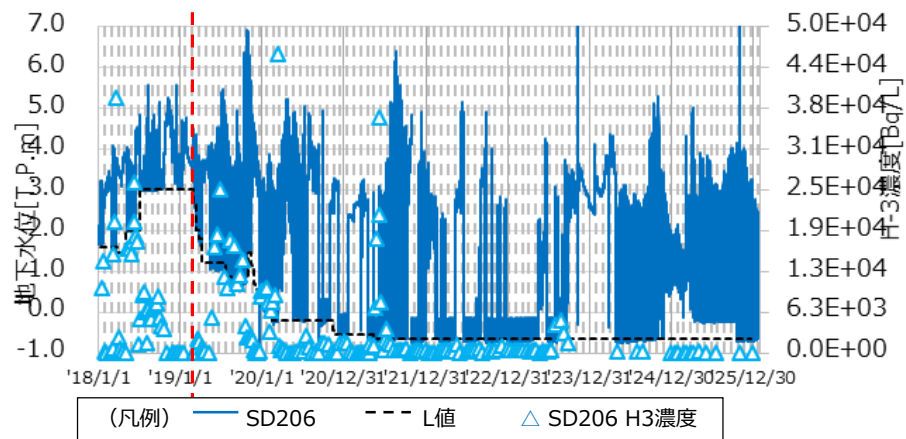


※ 5・6号機サブドレンピットから汲み上げた地下水は、高台集水タンクへ移送する。（「添付資料-1 5 5・6号機サブドレン集水設備復旧による地下水流入低減について」参照）

- 新設範囲
- 設置エリア見直しとなる範囲

【参考】 1/2号機排気筒周辺サブドレンピットの水質

2019/2/6地改良完了



2018/11/6地盤改良完了

